

「図書修理ボランティア基礎講座」を開催しました

平成 29 年 2 月 6 日（月）・14 日（火）に「図書修理ボランティア基礎講座」を開催し、
両日とも 20 名の方にご参加いただきました。（両日とも同内容）
ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！

講座では、（株）図書館流通センターの長井雅子さんに講師をしていただき、修理方法の前に、まずは、本の各部位の名称や、製本の種類について教えていただきました。「どのように製本されたか」ということを理解していると、誤った修理方法で本を傷めてしまうことも少なくなり、より理解が深まるとのことです。



修理方法の説明です。どのような道具を使い、どのように修理をすればいいのか、実演を通して教えていただきました。（やぶれ、のど割れ、テープはがし、落書き等）みなさん先生の手元が見えるように身を乗り出し、熱心にメモをとっていました。





最後は、「本は壊してしまっても修理をすればいいというものではありません。状態によっては修理できないものもあります。大切なのは、修理をしなくてもいいように、本を大切に扱うということです。みなさんには、修理技術の向上はもちろん大切ですが、そもそも本を大切に扱うようにということ、繰り返し、伝えていっていただきたいです。」という先生のお話、皆さん「なるほど」とうなずかれていました。

今回の講座が、参加者の皆さんが図書館や地域の学校で、図書修理ボランティアとしてご活躍いただくきっかけとなれば幸いです。

★図書館からのお願い★

図書館の本は市民全員の財産です。大切に扱ってください。

また、もし図書館の本を破損してしまった場合は、ご自分で直そうとせず、職員までお申し付け下さい。例えば、破れてしまった時にセロハンテープで修理していただくというお気持ちはとてもうれしいのですが、セロハンテープは時間が経つと劣化し、はがれてきたり、色がついてしまいます。専門の道具で修理しますので、そのままの状態でお持ち下さい。修理できるものはさせていただきます。

修理ができないほど破損された場合は、同じ本を弁償していただく場合があります。ご理解とご協力をお願い致します。